

高校生のためのオープンキャンパス2016

東京大学史料編纂所

## 史料を後世に伝える営み

東京大学史料編纂所（しりょうへんさんじょ）は、古代から明治維新期にいたる前近代の日本史に関する多様な史料を収集・分析し、史料集として編纂・公開している研究所です。また、史料収集のために、影写（えいしゃ）・模写・写真撮影などによる複製を作成するとともに、所蔵する原本史料の必要に応じた修復、適切な保存にも取り組んでいます。今回の企画では、長年にわたって史料保存技術室によってつちかわれてきた、これら「史料を後世に伝える営み」、そして、研究部・図書室との協力によって近年進められている様々な新たな取り組みについて、その一端を紹介します。

### 展示史料

#### 「中院一品記（複製）」

南北朝期の公家の日記を精巧に複製。手にとって御覧いただけます。

#### 「洛中洛外図屏風（復元模写）」

戦国時代の京都を描いた屏風を、黄金に輝く製作当時のままに復元。

開催日時：8月3日（水）10：00～17：00

開催場所：史料編纂所1階 展示ホール・小会議室

（事前の申込は必要ありません。御自由に御覧ください。）



「洛中洛外図屏風」左隻（復元模写） 背景「中院一品記」紙背文書